

計画期間  
令和3年度～令和12年度

湧別町酪農・肉用牛生産近代化計画書

令和4年3月

北海道 湧別町

## 目 次

|     |  |    |
|-----|--|----|
| I   | 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針  | 1  |
| II  | 生乳の生産数量の目標並びに乳牛及び肉用牛の飼養頭数の目標                               | 2  |
|     | 1 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標                                      |    |
|     | 2 肉用牛の飼養頭数の目標  |    |
| III | 酪農経営又は肉用牛経営の改善の目標  | 3  |
|     | 1 酪農経営方式   |    |
|     | 2 肉用牛経営方式  |    |
| IV  | 乳牛及び肉用牛の飼養規模の拡大のための措置                                      | 9  |
|     | 1 乳牛（乳肉複合経営を含む）  |    |
|     | 2 肉用牛  |    |
| V   | 飼料の自給率の向上に関する事項  | 11 |
| VI  | 生乳の生産者の集乳施設の整備その他集乳の合理化のための措置又は肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置 |    |
|     | 1 集送乳の合理化  | 12 |
|     | 2 肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置                              |    |
| VII | その他酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために必要な事項                                | 12 |
|     | 1 担い手の育成と労働負担の軽減のための措置                                     |    |
|     | 2 その他必要な事項   |    |

## I 酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針

### 1 農業振興を図る上での酪農及び肉用牛生産の位置付けと情勢、展開方向

本町の酪農・肉用牛生産は、オホーツク海沿岸特有の厳しい自然条件を克服しながら土地資源を有効に活用し順調に発展を遂げ、現在は町内における基幹産業として重要な役割を担っています。

しかしながら、近年の農業を取り巻く情勢は大変厳しく、とりわけ畜産業は生産者の高齢化や後継者不足による担い手の減少、労働力の不足、各種疾病の流行やTPP協定による一部関税の引き下げなど、多くの課題や不安を抱えてる状況にあります。

このような状況の中で各種農業振興を行い、本町の重点基幹作目である酪農・肉用牛生産の経営の安定化を目指すとともに、基幹産業としての位置づけを明確にし、計画的な生産振興や合理化を図りつつ、健全経営に努力するとともに体質の強い経営を確立するため、令和12年を目標とする「湧別町酪農・肉用牛生産近代化計画」を策定し、湧別町の酪農業の安定かつ持続的な発展と、消費者から支持される安心安全な畜産物の安定供給を目指します。

### 2 担い手の育成と労働負担の軽減

地域農業の担い手となる認定農業者の育成・確保に向けての取組を推進し、後継者や新規就農希望者など今後の地域を支える意欲と能力のある多様な人材の育成・確保を図るため、新規就農の募集や研修制度を継続し、意欲のある担い手の確保を図ります。

また、省力化機械の導入や、コントラクター組織、公共牧野、哺育育成センター利用による労働負担の軽減を推進します。

#### (1) 新規就農者の育成・確保

新規就農希望者に対する情報提供や研修制度を継続し、後継者不在農家の施設や離農跡地を有効活用することにより、負担を少なく円滑な経営継承を推進し、次世代へと繋げる地域の活性化に努めます。

#### (2) 労働負担の軽減

搾乳ロボット等の省力化機械の導入や、ヘルパー利用組合、コントラクター組織、公共牧野、哺育育成センターなど地域営農支援システムの利用を促進し、生産性の向上とゆとりある畜産経営の実現を推進します。

### 3 飼養頭数の減少への対応

地域では酪農家戸数は減少しているものの、1戸あたりの飼養頭数は増加し、総体的な頭数は減少していない状況にあります。今後も先進技術の導入や施設整備、農地集積化、離農施設の有効活用を図り、規模拡大を支援し、生乳生産量の安定確保に努めます。

#### (1) 飼養頭数の確保

地域営農支援システムの充実や省力化機械の導入、離農施設の有効活用など、労働力の軽減、分業や省力化あるいは生産性の向上を推進し、飼養頭数の確保を図ります。

#### (2) 生乳・牛肉生産量の確保

今後、離農などによる減産が見込まれるため、1戸あたりの生産量の増加を推進します。生産量増加に当たり、先進技術や省力化機械の導入するとともに、関係機関と連携を図り、飼養管理技術の指導を推進し、省力化機械などの導入が難しい農場においても増産に繋がるよう努めます。

#### (3) 牛群検定の推進

乳牛検定組合への加入促進と、検定の推進、検定情報の活用による飼養・繁殖管理を推進します。

### 4 飼料生産基盤の確立

土地の有効活用、飼料費の低減を図る観点から、地域全体の適正な土地利用を図り計画的な草地更新や整備改良、農地の集積化、公共牧野の有効活用、堆肥・液肥の有効利用による飼料基盤の拡充、コントラクター組織及びTMRセンターの活用による飼料生産の組織化・外部化を推進し飼料自給率の向上を図ります。

#### (1) 飼料自給率の向上

良質で低コストな自給飼料の推進のため、栽培管理技術の高度化を図るとともに牧草優良品種の普及・促進、適期収穫を行うなどの生産管理技術の拡充に努め、計画的な草地更新・整備改良等により、生産性の向上を図り生産コストの低減を図ります。

#### (2) 飼料の効率的生産の推進

コントラクター組織やTMRセンターを有効活用し、省力的で効率の良い飼料の確保を図ります。

#### (3) 経営技術指導の効率化・高度化

農業改良普及センターや関係機関・団体との密接な連携により迅速で有効な情報の共有化・交換により技術指導の拡充を図り、新技術の導入や優良品種の導入による飼料の生産性の向上を図ります。

### 5 家畜衛生対策及び畜産環境対策の充実

飼養衛生管理基準の遵守を指導するとともに、河川等の水質汚濁や臭気対策など環境に対する悪影響を防ぐため、自然環境に調和した農業生産を進め、家畜排せつ物を有効な資源として耕種農家との連携を深め農地への還元を基本とした環境重視型の農業の確立を推進します。また、近年注目されているバイオガス処理施設についても整備促進を図り、再生エネルギーの利活用を推進します。

#### (1) 伝染病への対応

伝染病発生情報の周知や注意喚起、指導の徹底、立ち入り禁止看板の農場設置など防疫対策の強化を図ります。

#### (2) 家畜排せつ物の管理の適正化と利用の推進

農地への還元を基本とした利活用の推進と良質な堆肥の生産と散布圃場の確保を図り、環境に配慮した循環型農業を推進します。

#### (3) 耕畜連携による堆肥利用の促進

堆肥の肥料成分を考慮した適切な施用方法の普及を図り、コントラクター組織等を活用した耕畜連携を強化し、地域の特性を踏まえた家畜排せつ物の循環利用を促進します。

### 6 畜産クラスターの取組み等による地域の活性化

地域の畜産収益力強化のため、地域一体となって畜産クラスター事業の継続的な取組を推進します。

### 7 畜産物の安全確保、消費者の信頼確保、ニーズを踏まえた生産・供給の推進

#### (1) 乳製品消費拡大運動の推進

各種イベントでの乳製品無料配布等により消費拡大運動を実施し、良質で安全な乳製品の消費拡大に繋がります。

#### (2) 食育の推進

湧別町食育計画に基づいた児童を対象としたバター作りなど、地元産の牛乳を使った食育活動の実施を推進します。

#### (3) 牛肉のブランド化の推進

地元レストランでの牛肉料理販売等により知名度向上を図ります。

II 生乳の生産数量の目標並びに乳牛及び肉用牛の飼養頭数の目標

1 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

生乳の生産量の目標については、経産牛頭数の維持と経産牛1頭当たり乳量の増加を見込み設定します。乳牛の飼養頭数の目標については、目標年度における、離農などによる酪農家戸数の減少並びに先進技術の導入及び地域営農支援システムの充実による経営規模の拡大を見込み設定します。経産牛1頭当たり乳量の目標は、先進技術や省力化機械の導入とともに、省力化機械などの導入が難しい農場においては乳牛の能力を最大限発揮させるための基本的な飼養管理の徹底等を見込み設定します。

| 地域名   | 地域の範囲 | 現在（平成30年度） |        |        |               |         | 目標（令和12年度） |        |        |               |         |
|-------|-------|------------|--------|--------|---------------|---------|------------|--------|--------|---------------|---------|
|       |       | 総頭数        | 成牛頭数   | 経産牛頭数  | 経産牛1頭当たり年間搾乳量 | 生乳生産量   | 総頭数        | 成牛頭数   | 経産牛頭数  | 経産牛1頭当たり年間搾乳量 | 生乳生産量   |
|       |       | 頭          | 頭      | 頭      | kg            | t       | 頭          | 頭      | 頭      | kg            | t       |
| 湧別地区  | 一円    | 12,639     | 8,147  | 7,811  | 9,824         | 76,734  | 12,800     | 8,300  | 8,000  | 9,900         | 79,200  |
| 上湧別地区 | 一円    | 7,475      | 4,543  | 4,108  | 9,818         | 40,333  | 7,665      | 4,935  | 4,440  | 9,822         | 43,608  |
| 合計    |       | 20,114     | 12,690 | 11,919 | 9,821         | 117,067 | 20,465     | 13,235 | 12,440 | 9,861         | 122,808 |

- (注) 1. 成牛とは、24ヶ月齢以上のものをいう。以下、諸表において同じ。  
 2. 生乳生産量は、自家消費量を含め、総搾乳量とする。  
 3. 「目標」欄には、令和12年度の計画数量を、「現在」欄には原則として令和3年度の数量を記入すること。以下、諸表について同じ。

2 肉用牛の飼養頭数の目標

肉用牛の飼養頭数の目標については、経産牛の飼養頭数の増加や性別別精液の利用率等の動向を踏まえつつ、生産性の高い大規模な専業経営や耕種、酪農等との複合経営の育成、一貫経営への移行や、肥育技術の普及等による肥育頭数の拡大のほか、受精卵移植などの活用による乳牛からの黒毛和種生産及び繁殖雌牛の増頭、黒毛和種精液を活用した乳牛からの交雑種の生産等を見込み設定します。

| 地域名   | 地域の範囲 | 現在（平成30年度） |      |       |     |       |       |       |       | 目標（令和12年度） |      |       |     |       |       |       |       |   |
|-------|-------|------------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|------------|------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|---|
|       |       | 肉用牛総頭数     | 肉専用種 |       |     |       | 乳用種等  |       |       | 肉用牛総頭数     | 肉専用種 |       |     |       | 乳用種等  |       |       |   |
|       |       |            | 繁殖雌牛 | 肥育牛   | その他 | 計     | 乳用種   | 交雑種   | 計     |            | 繁殖雌牛 | 肥育牛   | その他 | 計     | 乳用種   | 交雑種   | 計     |   |
|       |       | 頭          | 頭    | 頭     | 頭   | 頭     | 頭     | 頭     | 頭     | 頭          | 頭    | 頭     | 頭   | 頭     | 頭     | 頭     | 頭     | 頭 |
| 湧別地区  | 一円    | 3,359      | 264  | 1,319 | 0   | 1,583 | 1,050 | 726   | 1,776 | 3,380      | 270  | 1,320 | 0   | 1,590 | 1,060 | 730   | 1,790 |   |
| 上湧別地区 | 一円    | 1,266      | 40   | 203   | 38  | 281   | 310   | 675   | 985   | 1,290      | 40   | 210   | 40  | 290   | 320   | 680   | 1,000 |   |
| 合計    |       | 4,625      | 304  | 1,522 | 38  | 1,864 | 1,360 | 1,401 | 2,761 | 4,670      | 310  | 1,530 | 40  | 1,880 | 1,380 | 1,410 | 2,790 |   |

- (注) 1. 繁殖雌牛とは、繁殖の用に供する全ての雌牛であり、子牛、育成牛を含む。  
 2. 肉専用種その他は、肉専用種総頭数から繁殖雌牛及び肥育牛頭数を減じた頭数で子牛を含む。以下、諸表において同じ。  
 3. 乳用種等とは、乳用種及び交雑種で、子牛、育成牛を含む。以下、諸表において同じ。

Ⅲ 酪農経営又は肉用牛経営の改善の目標

1 酪農経営方式（湧別地区）

単一経営

| 方式名<br>(特徴となる取組の概要) | 経営概要 |       |      |              |            |             | 生産性指標      |                      |                    |                |         |            |             |        |           |       |                   |         |         |         | 備考    |
|---------------------|------|-------|------|--------------|------------|-------------|------------|----------------------|--------------------|----------------|---------|------------|-------------|--------|-----------|-------|-------------------|---------|---------|---------|-------|
|                     | 経営形態 | 飼養形態  |      |              |            |             | 牛          |                      | 飼料                 |                |         |            |             |        |           | 人     |                   |         |         |         |       |
|                     |      | 経産牛頭数 | 飼養方式 | 外部化          | 給与方式       | 放牧利用(放牧地面積) | 経産牛1頭当たり乳量 | 更新産次                 | 作付体系及び単収           | 作付延べ面積※放牧利用を含む | 外部化(種類) | 購入国産飼料(種類) | 飼料自給率(国産飼料) | 粗飼料給与率 | 経営内堆肥利用割合 | 生産コスト | 労働                |         | 経営      |         |       |
|                     |      |       |      |              | ( ha)      | kg          | 産次         | kg                   | ha                 |                |         | %          | %           | 割      | 円(%)      | hr    | hr                | 千円      | 千円      | 千円      | 千円    |
| I<br>ST<br>45頭      | 家族   | 45    | ST   | ヘルパー<br>公共牧野 | 分離給与<br>舎飼 | 9,900       | 3.8        | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 牧草20<br>デントコーン18   | コントラクタ         | —       | 65         | 65          | 10     | 85        | 82    | 3,690<br>(1,900)  | 44,070  | 37,910  | 6,160   | 2,500 |
|                     | 家族   | 60    | ST   | ヘルパー<br>公共牧野 | TMR<br>舎飼  | 9,900       | 3.8        | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 牧草21<br>デントコーン22   | TMR            | —       | 65         | 65          | 10     | 78        | 68    | 4,080<br>(2,100)  | 58,830  | 46,480  | 12,350  | 5,200 |
| III<br>ST<br>100頭   | 家族   | 100   | ST   | ヘルパー<br>公共牧野 | TMR<br>舎飼  | 9,900       | 3.8        | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 牧草26<br>デントコーン38   | TMR            | —       | 65         | 65          | 10     | 77        | 66    | 6,600<br>(3,500)  | 98,060  | 76,490  | 21,570  | 6,300 |
|                     | 法人   | 600   | FS   | 公共牧野         | TMR<br>舎飼  | 9,900       | 3.8        | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 牧草120<br>デントコーン215 | コントラクタ         | —       | 65         | 65          | 10     | 82        | 46    | 27,600<br>(6,000) | 588,390 | 488,370 | 100,020 | 6,500 |

- (注) 1. 「方式名」欄には、経営類型の特徴を、「備考」欄には「方式」の欄に掲げる方式を適用すべき区域名等を記入すること。  
 2. 6次産業化の取組を織り込む場合には、基本方針の第3の票のように、6次産業化部門に係る指標を分けて記入すること。  
 3. (注) 1, 2については、「2肉用牛経営方式」についても同様とする。

Ⅲ 酪農経営又は肉用牛経営の改善の目標

1 酪農経営方式（上湧別地区）

単一経営

| 方式名<br>(特徴となる<br>取組の概要) | 経営概要     |           |          |              |            |                         | 生産性指標                  |                      |                  |                                    |                 |                        |                         |            |                   |       |                   |         |         |        | 備考    |   |
|-------------------------|----------|-----------|----------|--------------|------------|-------------------------|------------------------|----------------------|------------------|------------------------------------|-----------------|------------------------|-------------------------|------------|-------------------|-------|-------------------|---------|---------|--------|-------|---|
|                         | 経営<br>形態 | 飼養形態      |          |              |            | 牛                       |                        | 飼料                   |                  |                                    |                 |                        |                         | 人          |                   |       |                   |         |         |        |       |   |
|                         |          | 経産牛<br>頭数 | 飼養<br>方式 | 外部化          | 給与<br>方式   | 放牧<br>利用<br>(放牧<br>地面積) | 経産牛<br>1頭当<br>たり<br>乳量 | 更新<br>産次             | 作付体<br>系及び<br>単収 | 作付<br>延べ<br>面積<br>※放牧<br>利用を<br>含む | 外部化<br>(種<br>類) | 購入国<br>産飼料<br>(種<br>類) | 飼料自<br>給率<br>(国産<br>飼料) | 粗飼料<br>給与率 | 経営内<br>堆肥<br>利用割合 | 生産コスト |                   | 労働      |         | 経営     |       |   |
| 円                       | 円        | 円         | 円        | 円            | 円          | 円                       | 円                      | 円                    | 円                | 円                                  | 円               | 円                      | 円                       | 円          | 円                 | 円     | 円                 | 円       | 円       | 円      | 円     | 円 |
| I<br>ST<br>45頭          |          | 頭         |          |              | ( ha)      | kg                      | 産次                     | kg                   | ha               |                                    |                 | %                      | %                       | 割          | 円 (%)             | hr    | hr                | 千円      | 千円      | 千円     | 千円    |   |
|                         | 家族       | 45        | ST       | ヘルパー<br>公共牧野 | 分離給与<br>舎飼 | 9,000                   | 3.8                    | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 40               | コトラクタ                              | —               | 66                     | 66                      | 10         | 98                | 122   | 5,500<br>(3,000)  | 60,920  | 43,950  | 16,970 | 8,490 |   |
| II<br>ST<br>60頭         |          |           |          |              |            |                         |                        |                      |                  |                                    |                 |                        |                         |            |                   |       |                   |         |         |        |       |   |
|                         | 家族       | 60        | ST       | ヘルパー<br>公共牧野 | 分離給与<br>舎飼 | 9,000                   | 3.0                    | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 58               | コトラクタ                              | —               | 66                     | 66                      | 10         | 104               | 125   | 7,500<br>(4,000)  | 97,670  | 78,010  | 19,660 | 6,550 |   |
| III<br>FS<br>120頭       |          |           |          |              |            |                         |                        |                      |                  |                                    |                 |                        |                         |            |                   |       |                   |         |         |        |       |   |
|                         | 法人       | 100       | FS       | ヘルパー<br>預託牧場 | TMR<br>舎飼  | 9,000                   | 3.0                    | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 113              | コトラクタ                              | —               | 66                     | 66                      | 10         | 134               | 94    | 9,400<br>(2,500)  | 167,030 | 153,810 | 13,220 | 3,310 |   |
| IV<br>FS<br>400頭        |          |           |          |              |            |                         |                        |                      |                  |                                    |                 |                        |                         |            |                   |       |                   |         |         |        |       |   |
|                         | 法人       | 460       | FS       | ヘルパー<br>預託牧場 | TMR<br>舎飼  | 9,000                   | 3.0                    | 牧草4500<br>デントコーン6000 | 120              | コトラクタ                              | —               | 66                     | 66                      | 10         | 121               | 54    | 25,000<br>(6,500) | 590,540 | 542,720 | 47,820 | 6,830 |   |

- (注) 1. 「方式名」欄には、経営類型の特徴を、「備考」欄には「方式」の欄に掲げる方式を適用すべき区域名等を記入すること。  
 2. 6次産業化の取組を織り込む場合には、基本方針の第3の票のように、6次産業化部門に係る指標を分けて記入すること。  
 3. (注) 1, 2については、「2肉用牛経営方式」についても同様とする。

2 肉用牛経営方式（湧別地区）

(1) 肉専用種繁殖経営

| 方式名<br>(特徴となる取組の概要) | 経営概要 |         |          |              |             |             | 生産性指標      |           |           |                  |          |                |         |            |             |         |                 |            |                        |              |             |             | 備考          |
|---------------------|------|---------|----------|--------------|-------------|-------------|------------|-----------|-----------|------------------|----------|----------------|---------|------------|-------------|---------|-----------------|------------|------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
|                     | 経営形態 | 飼養形態    |          |              |             |             | 牛          |           |           |                  | 飼料       |                |         |            |             |         | 人               |            |                        |              |             |             |             |
|                     |      | 飼養頭数    | 飼養方式     | 外部化          | 給与方式        | 放牧利用(放牧地面積) | 分娩間隔       | 初産月齢      | 出荷月齢      | 出荷時体重            | 作付体系及び単収 | 作付延べ面積※放牧利用を含む | 外部化(種類) | 購入国産飼料(種類) | 飼料自給率(国産飼料) | 粗飼料給与率  | 経営内堆肥利用割合       | 生産コスト      | 労働                     |              | 経営          |             |             |
| 肉専用種繁殖経営            | 家族   | 頭<br>25 | 牛房<br>群飼 | 公共牧野<br>分離給与 | ( ha)<br>舎飼 | ヶ月<br>13.0  | ヶ月<br>23.5 | ヶ月<br>8.5 | kg<br>300 | kg<br>牧草<br>4500 | ha<br>11 | 個別完結           | —       | %<br>89    | %<br>89     | 割<br>10 | 円(%)<br>410,000 | hr<br>65.9 | hr<br>2,965<br>(1,600) | 千円<br>13,560 | 千円<br>9,900 | 千円<br>3,660 | 千円<br>3,000 |

2 肉用牛経営方式（上湧別地区）

(1) 肉専用種繁殖経営

| 方式名<br>(特徴となる取組の概要) | 経営概要 |         |          |      |      | 生産性指標       |            |            |            |           |                  |                |         |            |             |        |           |                 |           |                        |              |             | 備考          |             |  |
|---------------------|------|---------|----------|------|------|-------------|------------|------------|------------|-----------|------------------|----------------|---------|------------|-------------|--------|-----------|-----------------|-----------|------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--|
|                     | 経営形態 | 飼養形態    |          |      |      | 牛           |            |            |            | 飼料        |                  |                |         |            |             |        | 人         |                 |           |                        |              |             |             |             |  |
|                     |      | 飼養頭数    | 飼養方式     | 外部化  | 給与方式 | 放牧利用(放牧地面積) | 分娩間隔       | 初産月齢       | 出荷月齢       | 出荷時体重     | 作付体系及び単収         | 作付延べ面積※放牧利用を含む | 外部化(種類) | 購入国産飼料(種類) | 飼料自給率(国産飼料) | 粗飼料給与率 | 経営内堆肥利用割合 | 生産コスト           | 労働        |                        | 経営           |             |             |             |  |
| 肉専用種繁殖経営            | 家族   | 頭<br>25 | 牛房<br>群飼 | ヘルパー | 分離給与 | ( ha)<br>2  | ヶ月<br>14.0 | ヶ月<br>24.0 | ヶ月<br>10.0 | kg<br>300 | kg<br>牧草<br>4500 | ha<br>36       | 個別完結    | 牧草・<br>稲わら | %           | %      | 割<br>10   | 円(%)<br>533,333 | hr<br>195 | hr<br>2,920<br>(1,600) | 千円<br>10,000 | 千円<br>8,000 | 千円<br>2,000 | 千円<br>2,000 |  |



(2) 肉牛用（肥育・一貫）経営（湧別地区）

| 方式名<br>(特徴となる取組の概要)      | 経営概要         |                    |                    |         | 生産性指標    |               |           |            |            |            |                    |         |            |             |         |                 |          |                        |              |              |              | 備考          |
|--------------------------|--------------|--------------------|--------------------|---------|----------|---------------|-----------|------------|------------|------------|--------------------|---------|------------|-------------|---------|-----------------|----------|------------------------|--------------|--------------|--------------|-------------|
|                          | 経営形態         | 飼養形態               |                    |         | 牛        |               |           |            |            | 飼料         |                    |         |            |             | 人       |                 |          |                        |              |              |              |             |
|                          |              | 飼養頭数               | 飼養方式               | 給与方式    | 肥育開始時月齢  | 出荷月齢          | 肥育期間      | 出荷時体重      | 1日当たり増体量   | 作付体系及び単収   | 作付延べ面積<br>※放牧利用を含む | 外部化(種類) | 購入国産飼料(種類) | 飼料自給率(国産飼料) | 粗飼料給与率  | 経営内堆肥利用割合       | 生産コスト    | 労働                     |              | 経営           |              |             |
| 肥育牛1頭当たり費用合計(現状平均規模との比較) | 牛1頭当たり飼養労働時間 | 総労働時間(主たる従事者の労働時間) | 粗収入                | 経営費     | 農業所得     | 主たる従事者1人当たり所得 |           |            |            |            |                    |         |            |             |         |                 |          |                        |              |              |              |             |
| 肥育一貫                     | 家族           | 頭<br>90            | 牛房<br>連動ST<br>分離給与 | ヶ月<br>8 | ヶ月<br>28 | ヶ月<br>19.5    | kg<br>840 | kg<br>0.87 | kg<br>4500 | ha<br>40.5 | 個別完結               | —       | %          | %           | 割<br>10 | 円(%)<br>850,000 | hr<br>66 | hr<br>5,931<br>(3,500) | 千円<br>76,950 | 千円<br>61,560 | 千円<br>15,390 | 千円<br>5,000 |

(注) 1. 繁殖部門との一貫経営を設定する場合には、肉専用種繁殖経営の指標を参考に必要な項目を追加すること。

2. 「肥育牛1頭当たりの費用合計」には、もと畜費は含めないものとする。

(2) 肉牛用（肥育・一貫）経営（上湧別地区）

| 方式名<br>(特徴となる取組の概要)      | 経営概要         |                    |      | 生産性指標 |         |               |      |       |          |            |                    |         |            |             |        |           |         |    |                  |         | 備考      |        |       |
|--------------------------|--------------|--------------------|------|-------|---------|---------------|------|-------|----------|------------|--------------------|---------|------------|-------------|--------|-----------|---------|----|------------------|---------|---------|--------|-------|
|                          | 経営形態         | 飼養形態               |      |       | 牛       |               |      |       |          | 飼料         |                    |         |            |             | 人      |           |         |    |                  |         |         |        |       |
|                          |              | 飼養頭数               | 飼養方式 | 給与方式  | 肥育開始時月齢 | 出荷月齢          | 肥育期間 | 出荷時体重 | 1日当たり増体量 | 作付体系及び単収   | 作付延べ面積<br>※放牧利用を含む | 外部化(種類) | 購入国産飼料(種類) | 飼料自給率(国産飼料) | 粗飼料給与率 | 経営内堆肥利用割合 | 生産コスト   | 労働 |                  | 経営      |         |        |       |
| 肥育牛1頭当たり費用合計(現状平均規模との比較) | 牛1頭当たり飼養労働時間 | 総労働時間(主たる従事者の労働時間) | 粗収入  | 経営費   | 農業所得    | 主たる従事者1人当たり所得 |      |       |          |            |                    |         |            |             |        |           |         |    |                  |         |         |        |       |
| 肥育一貫                     | 家族           | 頭                  | 牛房群飼 | 分離給与  | ヶ月      | ヶ月            | ヶ月   | kg    | kg       | kg         | ha                 |         | %          | %           | 割      | 円(%)      | hr      | hr | 千円               | 千円      | 千円      | 千円     |       |
|                          |              | 200                |      |       | 0       | 24            | 24.0 | 700   | 0.95     | 牧草<br>4500 | 35                 | 個別完結    | —          | 18          | 18     | 10        | 850,000 | 30 | 6,000<br>(4,000) | 171,000 | 136,800 | 34,200 | 8,000 |

(注) 1. 繁殖部門との一貫経営を設定する場合には、肉専用種繁殖経営の指標を参考に必要な項目を追加すること。

2. 「肥育牛1頭当たりの費用合計」には、もと畜費は含めないものとする。

IV 乳牛及び肉用牛の飼養規模の拡大のための措置

1 乳牛

(1) 地域別乳牛飼養構造

| 地区域名  |    | ①総農家戸数   | ②飼養農家戸数    | ②/①        | 乳牛頭数        |            | 1戸当たり平均飼養頭数<br>③/② |
|-------|----|----------|------------|------------|-------------|------------|--------------------|
|       |    |          |            |            | ③総数         | ④うち成牛頭数    |                    |
| 湧別地区  | 現在 | 戸<br>129 | 戸<br>94    | %<br>72.9% | 頭<br>12,639 | 頭<br>8,147 | 頭<br>134.5         |
|       | 目標 | 115      | ( )<br>80  | 69.6%      | 12,800      | 8,300      | 160.0              |
| 上湧別地区 | 現在 | 44       | 33         | 75.0%      | 7,475       | 4,543      | 226.5              |
|       | 目標 | 42       | ( )<br>31  | 73.8%      | 7,665       | 4,935      | 247.3              |
| 合計    | 現在 | 173      | 127        | 73.4%      | 20,114      | 12,690     | 158.4              |
|       | 目標 | 157      | ( )<br>111 | 70.7%      | 20,465      | 13,235     | 184.4              |

(注) 「飼養農家戸数」欄の ( ) には、子畜のみを飼育している農家の戸数を内数で記入する。

(2) 乳牛の飼養規模の拡大のための措置

- ① 省力化機械の導入やコントラクター組織、公共牧野、酪農ヘルパー利用組合など地域営農支援システムを有効に活用し、労働力の低減（分業）により飼養頭数の増加を図ります。
- ② 乳牛検定組合への加入促進と、検定の推進、検定情報の活用による飼養、繁殖管理を推進します。
- ③ 新たな担い手の確保を推進するため、新規就農希望者の受け入れ体制を整備し、離農施設の有効活用を図ります。また、後継者の円滑な就農や法人化への促進を図るために関係機関が一体となって、経営拡大に必要な情報の提供や相談受入など支援体制の強化を図ります。

2 肉用牛

(1) 地域別肉用牛飼養構造

|             | 地域名   |     | ①<br>総農家数 | ②<br>飼養農家<br>戸数 | ②/①<br>% | 肉用牛飼養頭数  |          |          |          |        |        |        |        |
|-------------|-------|-----|-----------|-----------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|--------|
|             |       |     |           |                 |          | 総数       | 肉専用種     |          |          |        | 乳用種等   |        |        |
|             |       |     |           |                 |          |          | 計        | 繁殖雌牛     | 肥育牛      | その他    | 計      | 乳用種    | 交雑種    |
| 肉専用種繁殖経営    | 湧別地区  | 現在  | 戸<br>129  | 戸<br>6          | 4.7%     | 頭<br>576 | 頭<br>576 | 頭<br>264 | 頭<br>312 | 頭<br>0 | 頭<br>0 | 頭<br>0 | 頭<br>0 |
|             |       | 目標  | /         | /               | /        | 582      | 582      | 270      | 312      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             | 上湧別地区 | 現在  | 44        | 5               | 11.4%    | 40       | 40       | 40       | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             |       | 目標  | /         | 4               | /        | 40       | 40       | 40       | 0        | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             | 合計    | 現在  | 173       | 11              | 6.4%     | 616      | 616      | 304      | 312      | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             |       | 目標  | /         | 7               | /        | 622      | 622      | 310      | 312      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| 肉専用種肥育経営    | 湧別地区  | 現在  | 129       | 5               | 3.9%     | 1,007    | 1,007    | 0        | 1,007    | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             |       | 目標  | /         | 2               | /        | 1,008    | 1,008    | ( 0 )    | 1,008    | 0      | 0      | 0      | 0      |
|             | 上湧別地区 | 現在  | 44        | 1               | 2.3%     | 241      | 241      | 0        | 203      | 38     | 0      | 0      | 0      |
|             |       | 目標  | /         | 1               | /        | 260      | 250      | ( 0 )    | 210      | 40     | 10     | 10     | 0      |
|             | 合計    | 現在  | 173       | 6               | 3.5%     | 1,248    | 1,248    | 0        | 1,210    | 38     | 0      | 0      | 0      |
|             |       | 目標  | /         | 3               | /        | 1,268    | 1,258    | ( )      | 1,218    | 40     | 10     | 10     | 0      |
| 乳用種・交雑種肥育経営 | 湧別地区  | 現在  | 129       | 2               | 1.6%     | 1,776    | 0        | 0        | 0        | 0      | 1,776  | 1,050  | 726    |
|             |       | 目標  | /         | 2               | /        | 1,790    | 0        | ( 0 )    | ( 0 )    | 0      | 1,790  | 1,060  | 730    |
|             | 上湧別地区 | 現在  | 44        | 2               | 4.5%     | 985      | 0        | 0        | 0        | 0      | 985    | 310    | 675    |
|             |       | 目標  | /         | 2               | /        | 990      | 0        | ( 0 )    | ( 0 )    | 0      | 990    | 310    | 680    |
|             | 合計    | 現在  | 173       | 4               | 2.3%     | 2,761    | 0        | 0        | 0        | 0      | 2,761  | 1,360  | 1,401  |
|             |       | 目標  | /         | 4               | /        | 2,780    | 0        | ( 0 )    | ( 0 )    | 0      | 2,780  | 1,370  | 1,410  |
| 合計          | 現在    | 173 | 21        | /               | 4,625    | 1,864    | 304      | 1,522    | 38       | 2,761  | 1,360  | 1,401  |        |
|             | 目標    | /   | 14        | /               | 4,670    | 1,880    | ( 0 )    | 1,530    | 40       | 2,790  | 1,380  | 1,410  |        |

(注) ( ) 内には、一貫経営に係る分(肉専用種繁殖経営、乳用種・交雑種育成経営との複合経営)について内数を記入すること。

(2) 肉用牛の飼養規模の拡大のための措置

- ① 安全で良質な生産コストの低い経営を目指すために既存の飼養管理体制を見直し、効率の良い飼養技術の確立を図るとともに新技術の導入に積極的に取り組み消費者ニーズに即した経営体の育成を図ります。
- ② 本町の広大な土地を活かした自給飼料の生産拡大を図るとともに、計画的な草地更新や堆肥の積極的な施用等による土作りを行い、自給飼料基盤の整備による生産性の向上に努めます。  
また、堆肥の余剰分については耕種農家への供給を行うなど地域の実情に合わせた取り組みを推進します。
- ③ 生産コストの低減や高付加価値などを通じて収益性の向上を図るとともに、経営規模の拡大・法人化による経営の合理化などを推進し、併せて担い手の育成と確保に努め持続性のある生産構造の確立を目指します。

【肉専用種繁殖経営】

優良繁殖牛の確保・保留に努め、優良子牛の生産拡大と肥育素牛自給率の向上を図ります。また、生産コストの低減を図るため繁殖技術の向上や公共牧野の利用などを推進します。

【肉専用種肥育経営】

枝肉成績や血液検査のデータ等を基に効率的な飼養管理の徹底により更に高品質化を図ります。

【乳用種・交雑種肥育経営】

輸入牛肉と品質面で競合することから安全性などの国産品の有利性を生かした生産方式を基本とし、交雑種肥育などにより多様化する消費者ニーズに的確に対応するとともに、肥育期間の短縮など肥育管理技術の向上などにより生産コストの更なる低減に努めます。

【一貫経営】

肉用牛生産の効率化と経営の安定を図るため、地域や経営の置かれている条件に即した繁殖から肥育までの一貫生産を推進します。

V 飼料の自給率の向上に関する事項

1 飼料の自給率の向上

| 湧別地区        |     | 現在      | 目標（令和12年度） |
|-------------|-----|---------|------------|
| 飼料自給率       | 乳用牛 | 63.3%   | 64.3%      |
|             | 肉用牛 | 15.7%   | 9.5%       |
| 飼料作物の作付延べ面積 |     | 4,915ha | 4,915ha    |

| 上湧別地区       |     | 現在      | 目標（令和12年度） |
|-------------|-----|---------|------------|
| 飼料自給率       | 乳用牛 | 55.7%   | 54.5%      |
|             | 肉用牛 | 8.9%    | 9.5%       |
| 飼料作物の作付延べ面積 |     | 2,491ha | 2,491ha    |

| 合計          |     | 現在      | 目標（令和12年度） |
|-------------|-----|---------|------------|
| 飼料自給率       | 乳用牛 | 60.6%   | 60.8%      |
|             | 肉用牛 | 11.2%   | 14.3%      |
| 飼料作物の作付延べ面積 |     | 7,406ha | 7,406ha    |

2 具体的措置

- ・ 公社営事業や町単独事業により草地更新等を実施し、収量の向上を図ります。
- ・ コントラクター組織など地域営農支援システム活用により、適期に収穫することで良質な飼料の確保を図ります。
- ・ 農業振興協議会による試験事業（デントコーンの施肥効果確認等）を継続的に実施し、良質な飼料の確保を図ります。

VI 生乳の生産者の集乳施設の整備その他集乳の合理化のための措置又は肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置

1 集送乳の合理化

国内外における生乳・乳製品の供給体制などの動向を勘案しながら、地域の生乳生産量に対応した集乳体制の確立を図るとともに、流通の安定とコスト削減に向けた取組みを推進します。

2 肉用牛の共同出荷その他肉用牛の流通の合理化のための措置

(1) 肉用牛(肥育牛)の出荷先

| 区域名 | 区分   | 現在(平成30年度) |                   |      |     |    |        | 目標(令和12年度) |                   |      |     |    |       |
|-----|------|------------|-------------------|------|-----|----|--------|------------|-------------------|------|-----|----|-------|
|     |      | 出荷頭数<br>①  | 出荷先               |      |     | 道外 | ②/①    | 出荷頭数<br>①  | 出荷先               |      |     | 道外 | ②/①   |
|     |      |            | 道内                |      |     |    |        |            | 道内                |      |     |    |       |
|     |      |            | 食肉処理<br>加工施設<br>② | 家畜市場 | その他 |    |        |            | 食肉処理<br>加工施設<br>② | 家畜市場 | その他 |    |       |
| 湧別  | 肉専用種 | 頭          | 頭                 | 頭    | 頭   | 頭  | %      | 頭          | 頭                 | 頭    | 頭   | 頭  | %     |
|     | 乳用種  | 240        | 100               | 140  | 0   | 0  | 41.7%  | 240        | 160               | 80   | 0   | 0  | 66.7% |
|     | 交雑種  | 130        | 30                | 30   | 0   | 70 | 23.1%  | 130        | 20                | 20   | 0   | 90 | 15.4% |
| 上湧別 | 肉専用種 | 29         | 29                | 0    | 0   | 0  | 100.0% | 0          | 0                 | 0    | 0   | 0  | 0.0%  |
|     | 乳用種  | 760        | 600               | 160  | 0   | 0  | 78.9%  | 740        | 660               | 80   | 0   | 0  | 89.2% |
|     | 交雑種  | 121        | 121               | 0    | 0   | 0  | 100.0% | 0          | 0                 | 0    | 0   | 0  | 0.0%  |
| 合計  | 肉専用種 | 29         | 29                | 0    | 0   | 0  | 100.0% | 0          | 0                 | 0    | 0   | 0  | 0.0%  |
|     | 乳用種  | 1,000      | 700               | 300  | 0   | 0  | 70.0%  | 980        | 820               | 160  | 0   | 0  | 83.7% |
|     | 交雑種  | 251        | 151               | 30   | 0   | 70 | 60.2%  | 130        | 20                | 20   | 0   | 90 | 15.4% |

(注)食肉処理加工施設とは、食肉の処理加工を行う施設であって、と畜場法(昭和28年法律第114号)第4条第1項の都道府県知事の許可を受けたものをいう。

(2) 肉用牛の流通の合理化

法人化や一貫経営への移行により生産コストを抑えた経営体質の強化とトレーサビリティシステムの活用を軸とした生産情報の提供により、消費者へ安全性と信頼性の高さをアピールし、需要の拡大を目指します。

VII その他酪農及び肉用牛生産の近代化を図るために必要な事項

(1) 担い手の育成と労働負担の軽減のための措置

地域農業の担い手となる認定農業者の育成・確保に向けての取組を推進し、後継者や新規就農希望者など今後の地域を支える意欲と能力のある多様な人材の育成・確保を図るため、新規就農の募集や研修制度を継続し、意欲のある担い手の確保を図ります。また、省力化機械の導入や、コントラクター組織、公共牧野利用による労働負担の軽減を推進します。

(2) その他必要な事項

地域の畜産生産基盤の強化と収益性の向上を図るため、関係団体が連携し、地域の現状と課題の分析を行い、地域全体の収益性を向上させる畜産クラスターの継続的な取組を進めます。

## 湧別町酪農・肉用牛生産(酪農、肉用牛生産)近代化計画協議説明書

### 1 農業の概況

本町は、北海道の東北部オホーツク総合振興局管内のほぼ中心部に位置し、東にサロマ湖、北はオホーツク海に面し、総面積は505.79km<sup>2</sup>を有しています。

地形は、北見峠に水源を發する湧別川が平野部を流れオホーツク海へと注ぎ湧別川を挟み東西に湧別平野が広がっています。

気候は、オホーツク海型気候地域としての特色をもち内陸部は四季を通じて気温は比較的高く、沿岸部は概ね冷涼でオホーツク海高気圧の停滞で低温や降雨のほか海霧が発生するなど日照不足により農作物の育成や牧草の収穫に支障を及ぼすこともあります。

本町の農業形態は、主に野菜複合農業と畜産業であり、その内畜産農家は総農家戸数の約67%を占め、生産額においては農業生産額の約82%を占めており、本町の基幹作物となっています。

#### (1) 農家戸数及び畜産農家戸数

| 地区名  | 区分 | 専業別農家戸数 |    |     |     | 畜種別農家戸数 |              |       |       |       |         | 飼養密度 |     |  |
|------|----|---------|----|-----|-----|---------|--------------|-------|-------|-------|---------|------|-----|--|
|      |    | 専業      | 兼業 |     | 計①  | 乳牛②     | 肉用牛          |       |       |       | (②+③)/① | ②/①  | ③/① |  |
|      |    |         | I兼 | II兼 |     |         | 繁殖雌牛         | その他   | 乳用種等  | 計③    |         |      |     |  |
| 湧別一円 | 戸数 | 181     | 3  | 33  | 217 | 113     | 10           | 4     | 18    | 32    | 67%     | 52%  | 15% |  |
|      | 頭数 | /       |    |     |     | 20,114  | 304<br>(147) | 1,560 | 2,761 | 4,625 | /       |      |     |  |

(注) 1. 肉用牛の繁殖雌牛とは、繁殖の用に供している全ての雌牛をいう。なお、( )内に24ヶ月齢以上の頭数を記入すること。

2. 乳用種等とは、乳用種及び交雑種で、子牛、育成牛を含む。

#### (2) 農業生産状況

| 地区名  | 区分       | 耕種 |         |       |        |           |    |         |         |      |     |           | 養蚕 | 畜産         |           |   |   |     |   |        |
|------|----------|----|---------|-------|--------|-----------|----|---------|---------|------|-----|-----------|----|------------|-----------|---|---|-----|---|--------|
|      |          | 米  | 麦類      | 雑穀豆類  | いも類    | 野菜        | 果実 | 工芸農産物   | 飼料作物    | 飼料用米 | その他 | 計         |    | 乳用牛        | 肉用牛       | 豚 | 鶏 | その他 | 計 |        |
| 湧別一円 | 作付面積(ha) |    | 620.7   | 15.8  | 45.0   | 704.5     |    | 421.7   | 7,406.1 |      |     | 9,213.8   |    | /          | /         | / | / | /   | / | /      |
|      | 生産額(千円)  |    | 148,188 | 3,355 | 27,980 | 2,623,448 |    | 251,721 | /       | /    |     | 3,054,692 |    | 11,298,251 | 2,888,325 |   |   |     |   | 14,186 |

(注) 1. 鶏は鶏卵と肉鶏(産鶏を含む)との合計とする。

2. 養蚕の作付面積欄には桑の作物面積を記入すること。

### 2 酪農及び肉用牛生産の概要

本町の乳牛飼養戸数は113戸で飼養頭数20,114頭(内経産牛は11,919頭)、1戸当りの平均飼養頭数は178頭となっています。生乳生産量は117,067tで経産牛1頭当りの乳量は約9,821kgとなっています。

肉用牛については、飼養戸数32戸で、飼養頭数4,625頭、1戸当りの平均飼養頭数は145頭となっています。

飼料面積は1戸当り約5.1haでデントコーンをはじめ優良飼料確保のためグラスサイレージ主体となっています。

### 3 その他参考となる事項

三  
/

576

女